

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月16日

【評価実施概要】

事業所番号	0970101960		
法人名	鹿野建設株式会社		
事業所名	グループホームうつのみやファミリー		
所在地	栃木県宇都宮市岩曾町441-2 (電話) 028-689-3021		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成20年2月13日	評価確定日	平成20年4月16日

【情報提供票より】(平成20年1月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	7 人 7 人	常勤4人, 非常勤3人, 常勤換算7人 常勤4人, 非常勤3人, 常勤換算7人	

(2) 建物概要

建物構造	枠組壁工法造り 2階建ての1~2階部分		
------	------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	・光熱水費—20,000円 ・理美容代、おむつ代—実費	
敷金	有 (100,000円)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有 (100,000円)	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成20年1月16日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	8 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低	70 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	柴病院、高橋歯科
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日々の生活の中で出された入居者からの要望に対して、一人ひとりの想いに添う支援を基本として柔軟に対応している。その支援を可能とするために、日々の気づきを職員間で共有したり、計画的な内部研修のほか、入居者も参加する研修会の企画・実施を定期的に行っている。「家庭的なホーム」の実現に向けて、職員は入居者に対して人生の先輩として学ぶ姿勢を大切にしながら、一緒に郷土料理を作ったり、裁縫をしたり、と役割を見出しながら過ごしている。地域の自治会にも積極的に参加をしており、花祭りや行事、近隣の保育園や学校等との交流も行われている。散歩や買い物で出会う方との挨拶などさり気ない関わりの中から、ホームへの理解を深めるための働きかけもなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	日中も危険防止の観点から玄関の施錠をしていたが、周囲の危険な状況について話し合いを持ち、現在でも施錠をする状況はあるものの、改善に向けた取り組みがされている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価に対して職員へ回覧をしながら周知しており、今回は職員へ資料を見せながら管理者がまとめ、作成を行っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	民生委員、地域包括支援センター職員、家族、職員等が参加をして2ヶ月に1度の開催が定期的に行われている。福祉分野以外の働きかけも行い、路肩の道路整備も実現している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会の機会や電話での連絡を通じて積極的に話し合いを持ちながら不満や苦情がないかを聞くようにしている。契約書にも窓口の明記をしながら、管理者を中心として情報を収集し、より意見等が反映できるような体制を検討している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入して地域の祭りや行事等にも積極的に参加をしている。また、日々の散歩や商店への買い物等での挨拶、関わりの中で自然に理解を促せる配慮もされている。保育園や学校との関わりも行われている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の方々が個性豊かに暮らせるように入居者の様子を把握しながらサービス提供をする「家庭的なホーム」を理念としている。	○	今後見直し等をする際には、「家庭的なホーム」をより具体的なフレーズとして理念を作り上げて行くことにも期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新人の研修や会議等で取り上げながら管理者と職員は理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日々の散歩等での挨拶などを通して徐々に理解を促していき、現在では自治会にも加入をして地域の運動会や花祭りに参加しながら地元の人々と交流することに努めている。また、近隣の保育園や学校との交流も行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の改善点は回覧をして職員に周知しており、今回は職員に資料を見てもらい、管理者がまとめを行っている。	○	職員が参加しながら自己評価を行ったり、評価についての話し合いをするなど、評価の機会をより活かすための取り組みに期待したい。

グループホームうつのみやファミリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、地域包括支援センター職員、家族、職員等が参加をしながら開催している。積極的な話し合いがなされており、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	○	これから連携を深めていきたい組織や人材に対しても参加を促していくことで、幅の広がった意見交換が期待できると思われるので、参加者の検討などにも期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福祉分野以外の行政にも働きかけを行い、路肩の改善として道路整備の依頼もしている。また、サービスに関することについても連携をしている。	○	市に様々な働きかけをしていることを活かし、市とともに質の向上を図っていくための働きかけを続けていくことに期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	小遣いの補充等で家族の訪問の機会を作り、訪問時や電話での連絡を随時行っている。半年に1回、広報誌の発行も行っており、入居者の暮らしぶりや健康状態等を報告している。	○	広報誌の頻度の検討なども行いながら、より定期的に家族等への報告ができるよう検討していくことにも期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問した際には積極的に話し合いを持ちながら不満や苦情がないかを聞くように配慮している。また、苦情窓口の連絡先を契約書に記載している。	○	家族会の設立も検討されているので、意見等が反映される機会をより増やしていくことにも期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	単独設置のため異動はないが、離職の場合などには入居者の精神的なダメージを防ぐよう配慮をし、入居者とお別れ会も行うこともある。		

グループホームうつのみやファミリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月第4火曜日には計画的に内部研修を企画・実施している。年に1回は「感染症について」など入居者も参加しやすい内容の研修会も開催し、入居者も参加している。また、市の出前講座の活用も行い、働きながらトレーニングを進めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会主催の勉強会や交流会に参加をしており、見学を兼ねてホーム同士の情報交換等を行うなど、サービスの質を向上させていく取り組みを行っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	日中に食事やレクリエーションへの参加等、また宿泊の体験を通して、入居者の状況に配慮しながら徐々に馴染めるよう工夫している。また、事前の訪問は管理者と職員2名で行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は人生の先輩として入居者から教えてもらうことを基本にしながら郷土料理作りや裁縫などを一緒に行い、喜怒哀楽を共にしながら学び支えあう関係を築いている。		

グループホームうつのみやファミリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中での会話の中からさり気なく希望や意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全職員が参加する月1度の会議や日々の申し送り等を活用しながら、本人や家族等必要な関係者と話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期限を設定しながら見直しを行うとともに、日々の申し送り等を活用しながら生活の中で随時見直しの検討をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理美容院利用の対応や通院の付き添い、また墓参り等、利用者や家族の要望が出た時点で柔軟に対応した支援を行っている。		

グループホームうつのみやファミリー


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族と話し合った上でかかりつけ医を決定しており、適切な医療が受けられるよう職員も付き添いを行うことも多く、受診後は必ず家族と情報を共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療面でのケアが多くなるまでの受け入れを基本としており、入居者が重度化した場合には家族やかかりつけ医と話しあいながら方針を共有している。	○	重度化した場合や終末期のあり方について、本人の希望やリロケーションダメージなども考慮して、他機関等との連携等などより良い支援が行えるような体制づくりを今後、検討していくことにも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議等で入居者への言葉かけや対応の仕方について検討しており、日々の中での修正も行っている。記録については事務所の目の届かない場所で保管し、プライバシーの確保の徹底をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	デパートや商店など入居者の希望の場所への買い物や食事、墓参り等、入居者の想いを大切にしながら一人ひとりのペースを大切に支援している。		

グループホームうつのみやファミリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日買い物をしており、希望者は一緒に出かけている。入居者の嗜好を取り入れながら調理や片づけを一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後の時間を利用して毎日の入浴が可能である。入浴グッズの活用もしてスムーズに入浴できるような工夫も行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ゴミ出し、調理、片付け、テーブル拭き、洗濯物たたみ等、日々の暮らしの中で役割ごとを見出ししている。また、園芸やおはじき等への入居者の活動も確認しながら楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調や天候・気候に配慮しながら、散歩の途中に買い物や外食を取り入れるなど、自然に戸外に出かけられるよう工夫しながら支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員は日中に玄関の鍵をかけることの弊害を理解している。しかし、ハード面での理由により玄関を施錠している。	○	駐車場や門の設置について検討している段階である。地域の見守りネットワークの構築など、運営推進会議等の場も活用しながら支援のあり方を検討していくことに期待したい。

グループホームうつのみやファミリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を行い、また、自治会に加入して災害時等に協力が得られるよう努めている。	○	今後、警察や消防署との連携も図りながら、より地域の人々の協力が得られる働きかけを継続していくことにも期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の大まかな目安を設定し、年に2回、見直しを行っている。水分摂取量は1日の中で水分摂取の機会をつくりながらチェック表で摂取状況を把握している。以前に保健師による栄養指導の講習会も開催している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りも取り入れ、カーテンは入居者に確認をしながら開閉している。共有空間は居心地が良いよう配置にも工夫をしている。	○	トイレの臭いが若干感じられたため、換気や消臭についての対策を検討するよう期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	コタツや畳、仏壇等持ち込みは自由であり、本人や家族と相談しながら使い慣れたものや好みのものが置かれており、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。